

北大阪急行電鉄ではハード・ソフトの両面でバリアフリーを推進しています。

1. ハード施策

① 耳の不自由なお客様への会話支援

北大阪急行電鉄 バリアフリー設備のご紹介

会話支援スピーカー“コムーン”



音声の周波数を変換して耳の不自由なお客様にも聞こえやすい音に変換することができるスピーカーです。



設置駅 千里中央駅 駅長室

③ 多言語(4カ国語)での異常時案内

北大阪急行電鉄 バリアフリー設備のご紹介

多言語ハンドスピーカー“しゃべるホン”



ハンドメガホンとして使用できる他、遠隔から付属のスマートホンと連動させて異常時案内放送を日・英・中・韓の4カ国語で放送することが可能です。

設置駅 千里中央駅・桃山台駅・緑地公園駅

② 多言語(世界74言語)への対応

北大阪急行電鉄 バリアフリー設備のご紹介

AI通訳機“POCKETALK”



機械に話しかけるだけで通訳がいるかのように対話ができる機器です。世界74言語に対応しお客様からのお問い合わせに迅速に対応することができます。

設置駅 千里中央駅・桃山台駅・緑地公園駅

2. ソフト施策

① サービス介助士の資格取得推進

- お年寄りやお身体の不自由なお客さまに気持ち良くご利用いただくために、介助の知識と技能を認定された「サービス介助士」の資格取得に取り組んでいます。
- 令和4年(2022年)7月末時点の資格取得率は運輸従事員で **100%** (※新入社員除く) となっています。

② 段差・隙間解消状況に関する情報提供

- 「らくらくおでかけネット(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)」を活用し、各駅の段差・隙間解消状況に関する情報を提供しています。